

ヤゴに会いたいなあ…



他のクラスの子どもたちがわくわく池でヤゴを見付けたことを知り、自分も探すことにした2人。しかしなかなかヤゴは見付かりません。見付けたことがある子にどこで見付けたのか聞いてみたり、バケツで罌を作って仕掛けてみたり、園庭の若竹で釣りのようにしてみたり…自分なりに試行錯誤しましたが、3日経ってもヤゴは見付かりませんでした。「ヤゴに会いたいのに…」と落ち込む2人。すると一人の子が「**いいこと思い付いた！いないのなら作ればいいんだよ！**」と言いました。もう一人の子もぱあっと表情が明るくなりました。他のクラスが育てているヤゴを見せてもらいながら、カラーポリ袋や緩衝材、モールでヤゴの人形を作り始めました。



実はこの子たち、1学期にも見付けた虫の仲間としてハチの人形を作ったり、実際に虫を観察して図鑑を作ったりしてきたのです。自然が相手だと思い通りにいかないこともたくさんあります。思い通りにいかないときに、それでも最後まで頑張るのも一つの方法ですし、ときには諦めてしまうときもあるかもしれません。どれも子どもにとっては大切な経験です。この子たちは今までの経験を生かし、前向きに発想を転換させていました。大人も見習いたい姿勢ですね♪